

三原市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (平成30年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成29年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
平成30年度	93,653	50,243,791	568,969	7,569,835	15.1	15.4

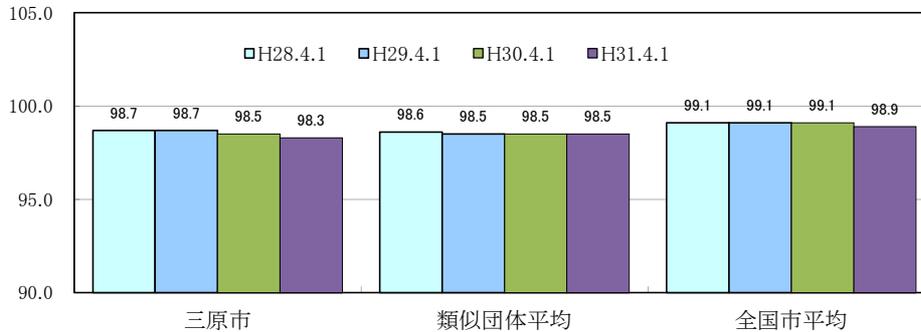
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
	人	千円	千円	千円	千円	千円
平成30年度	835	3,028,826	841,827	1,247,294	5,117,947	6,129

(参考) 類似団体 一人当たり給与費
千円 5,896

- (注) 1 職員手当には、退職手当を含みません。
 2 職員数は、平成30年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、再任用職員（短時間勤務）の給与が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 () 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。
 (補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)
 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされています。

① 給料表の見直し

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均1.94%引下げ。激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

② 地域手当の見直し

(支給割合) 国基準3%に対し、三原市においても3%を支給。

(実施時期) 平成27年4月1日より実施。段階的に支給割合を上げることとし、平成27年4月1日時点は1%、給与改定後は平成27年4月に遡及し2%、平成28年4月1日時点は3%を支給。

	平成26年度 の支給割合	平成27年度の支給割合		平成28年度 の支給割合
		4月1日時点	遡及改定後	
国基準による支給割合	0%	1%	2%	3%
三原市の支給割合	0%	1%	2%	3%

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。（平成27年4月1日実施）

2 職員の平均給与月額、初任給の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成31年4月1日現在）

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
三原市	41.9歳	円 318,405	円 429,324	円 355,752
広島県	44.1歳	円 336,108	円 417,893	円 378,969
国	43.4歳	円 329,433	円 -	円 411,123
類似団体	41.7歳	円 314,447	円 393,479	円 350,443

② 技能労務職

区分	公務員				
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国ベース)
三原市	50.6歳	27人	320,577円	370,000円	334,018円
うち清掃職員	55.1歳	09人	309,866円	372,355円	324,866円
うち学校給食調理職員	51.5歳	06人	345,800円	391,550円	362,366円
うち自動車運転手	-	-	-	-	-
うちその他技能労務職	46.8歳	12人	316,000円	357,458円	334,018円
国	50.9歳	2,431人	287,312円	-	329,380円
類似団体	51.3歳	28人	306,370円	343,456円	322,403円

(参考数値)

三原市		民間(広島県)			年収ベースの比較		
職種	類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	A/B	公務員(C)	民間(D)	C/D
清掃職員	廃棄物処理従業員	45.3	290,300円	1.28	5,749,083円	3,968,100円	1.45
学校給食調理員	調理士	43.0	229,700円	1.70	6,362,733円	3,020,300円	2.11
自動車運転手	-	-	-円	-	-円	-円	-

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成25年度から平成27年度の3カ年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

③ 消防職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
三原市	39.5歳	円 318,108	円 408,667	円 351,241
類似団体	37.9歳	円 295,728	円 377,609	円 331,832

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成31年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。

(2) 職員の初任給の状況（平成31年4月1日現在）

区 分		三原市	広島県	国
一般行政職	大 学 卒 (上 級)	187,200円	-円	187,200円
	大 学 卒	180,700円	188,800円	180,700円
	高 校 卒	153,000円	155,100円	148,600円
技能労務職	高 校 卒	技能職 153,000円 労務職 148,600円	-円	146,000円
	大 学 卒	197,200円	-円	-
消 防 職	高 校 卒	167,700円	-円	-

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状態（平成31年4月1日現在）

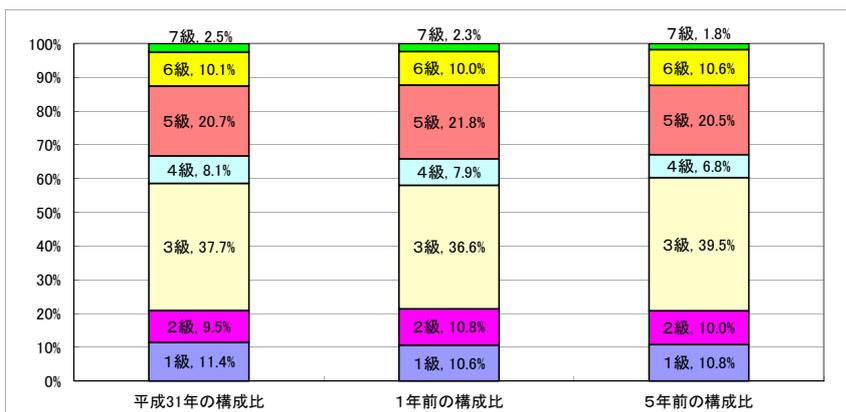
区分	学歴	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	272,771 円	303,767 円	341,622 円
	高校卒	- 円	- 円	- 円
技能労務職	高校卒	- 円	- 円	- 円
	中学卒	- 円	- 円	- 円
消防職	大学卒	- 円	- 円	- 円
	高校卒	- 円	- 円	- 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

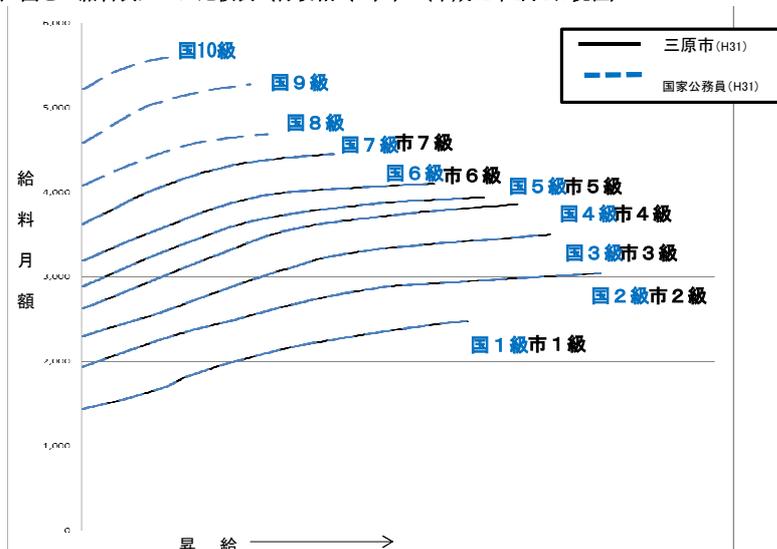
(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成31年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	主事・技師	55人	11.4%	144,100 円	247,600 円
2級	主事・技師	46人	9.5%	194,000 円	304,200 円
3級	主任主事・主任技師・主任	182人	37.7%	230,000 円	350,000 円
4級	主査・専門員	39人	8.1%	263,000 円	385,800 円
5級	課長補佐・係長・主任専門員	100人	20.7%	288,900 円	394,000 円
6級	次長・課長	49人	10.1%	319,200 円	410,200 円
7級	部長	12人	2.5%	362,900 円	444,900 円

(注) 1 三原市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（平成31年4月1日現在）



(3) 昇給への勤務成績の反映状況

平成31年4月2日から令和2年4月1日までにおける運用		管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している					
活用している昇給区分		昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分					
上位、標準の区分					
標準、下位の区分					
標準の区分のみ（一律）					
ロ 人事評価を活用していない					
活用予定時期		○		○	
		未定		未定	

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

三原市		広島県		国	
1人当たり平均支給額（平成30年度）		1人当たり平均支給額（平成30年度）		-	
1,513 千円		1,679 千円			
（平成30年度支給割合）		（平成30年度支給割合）		（平成30年度支給割合）	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.85 月分	2.60 月分	1.85 月分	2.60 月分	1.85 月分
(1.45) 月分	(0.90) 月分	(1.45) 月分	(0.90) 月分	(1.45) 月分	(0.90) 月分
（加算措置の状況）		（加算措置の状況）		（加算措置の状況）	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		職制上の段階、職務の級等による加算措置 有	

（注）（ ）内は、再任用職員に係る支給割合です。

○勤勉手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

平成31年度中における運用		管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している					
活用している成績率		支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率		○		○	
上位、標準の成績率			○		○
標準、下位の成績率					
標準の成績率のみ（一律）					
ロ 人事評価を活用していない					

(2) 退職手当（平成31年4月1日現在）

三原市		国	
（支給率）	自己都合 勤奨・定年	（支給率）	自己都合 早期・定年
勤続20年	19.6695 月分 24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分 24.586875 月分
勤続25年	28.0935 月分 33.27075 月分	勤続25年	28.0935 月分 33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分 47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分 47.709 月分
最高限度額	47.709 月分 47.709 月分	最高限度額	47.7090 月分 47.709 月分
その他の加算措置	勤続20年以上で定年前早期勤奨退職特例措置として2～20%を加算する	その他の加算措置	勤続20年以上で定年前早期退職特例措置として2～45%を加算する
1人当たり平均支給額	16,826 千円		

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当（平成31年4月1日現在）

支給実績（平成30年度決算）		102,465 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）		121,982 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
三原市	3 %	833 人	3 %
東京都特別区	20 %	2 人	20 %
広島県広島市	10 %	5 人	10 %

(4) 特殊勤務手当 (平成31年4月1日現在)

支給実績 (平成30年度決算)	3,847 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額 (平成30年度決算)	23,600 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合 (平成30年度)	18.8 %		
手当の種類 (手当数)	9		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
市税徴収手当	収納課の市税を徴収する職員	市税徴収業務に従事したとき	1件につき2円及び徴収金額の1,000分の2に相当する金額
感染症防疫作業従事手当	感染症防疫作業に従事する職員	感染症防疫作業に従事したとき	日額1,000円
行旅病人取扱手当	行旅病人の救護の作業に従事した職員	行旅病人の救護の作業に従事したとき	一件1,000円
行旅死亡人取扱手当	行旅死亡人の取扱の作業に従事した職員	行旅死亡人の取扱の作業に従事したとき	日額3,000円
夜間看護業務従事手当	病院で市長が定めるものの病棟に勤務する看護師、准看護師等	深夜勤務 (午後10時～午前5時) で看護業務に従事したとき	勤務1回につき1,800円
消防業務手当	消防業務に従事する職員	救急業務に出動	1件につき60円
消防業務手当	消防業務に従事する職員	深夜勤務に従事したとき	1勤務につき140円
消防業務手当	消防業務に従事する職員	高所特殊消防作業に従事したとき	1当務につき100円
生活保護業務手当	生活保護法に基づく決定実施を行う職員		月額3,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (平成29年度決算)	417,708 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (平成29年度決算)	540 千円
支給実績 (平成30年度決算)	308,261 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (平成30年度決算)	397 千円

(6) その他の手当 (平成31年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成30年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (平成30年度決算)
扶養手当	配偶者:6,500円、子10,000円、その他6,500円	同		108,172 千円	260,656 円
住居手当	借家:27,000円以内	同		56,417 千円	287,841 円
単身赴任手当	異動等により配偶者と別居し、単身で生活することを常況とした場合26,000～74,000円	同		910 千円	455,000 円
通勤手当	通勤のため、公共交通機関、交通用具を使用する者 公共交通機関:55,000円以下 実費負担55,000円以上 55,000円 交通用具使用:距離により2,900円～31,600円	異	交通用具:距離により2,000円～31,600円	82,737 千円	138,588 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員 部長級77,400円 課長級62,300円	同		72,091 千円	735,621 円
休日勤務手当	休日に勤務した場合 勤務1時間当りの給与額×135/100×時間数	同		時間外勤務手当に含む	円
夜勤手当	午後10時から翌日午前5時まで勤務した場合 勤務1時間当りの給与額×25/100×時間数			13,604 千円	97,171 円
宿日直手当	宿日直勤務をした場合 1回4,200円～30,000円			- 千円	- 円
管理職員特別勤務手当	管理職手当支給対象職員が、臨時・緊急の必要により勤務した場合 休日:課長級6,000円、部長級8,000円 平日深夜:課長級3,000円、部長級4,000円	同		5,054 千円	51,571 円

5 特別職の報酬等の状況 (平成31年4月1日現在)

区 分	給 料	月 額	等
給料	市長	943,000 円	(参考) 類似団体における最高/最低額 1,053,000 円 616,000 円
	副市長	744,000 円	870,000 円 578,000 円
報酬	議長	530,000 円	629,000 円 385,000 円
	副議長	475,000 円	575,000 円 330,000 円
	議員	428,000 円	530,000 円 308,000 円
期末手当	市長	(平成30年度支給割合)	
	副市長	4.45	月分
退職手当	議長	(平成30年度支給割合)	
	副議長	4.45	月分
	議員	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期)	
退職手当	市長	給料月額×支給率(6.0)×年暮	22,632,000円 退職時
	副市長	給料月額×支給率(4.2)×年暮	12,499,200円 退職時

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

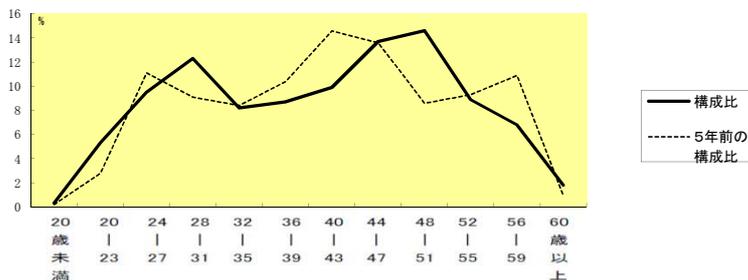
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分 部 門	職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由	
	平成30年	平成31年			
一般行政部門	議 会	7	7	0	
	総 務	156	160	4	事務事業の見直し
	税 務	44	43	-1	事務事業の見直し
	民 生	155	157	2	事務事業の見直し
	衛 生	68	66	-2	事務事業の見直し
	労 働	0	0	0	
	農林水産	28	28	0	
	商 工	20	19	-1	事務事業の見直し
	土 木	88	89	1	事務事業の見直し
小 計	566	569	3		
特別行政	教 育	103	95	-8	事務事業の見直し
	消 防	169	169	0	
	小 計	272	264	-8	
公営企業会計等	病 院	0	0	0	
	水 道	40	40	0	
	交 通	0	0	0	
	そ の 他	30	30	0	
	小 計	70	70	0	
合 計	908	903	-5		
		[1,129]	[1,129]	[]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。
2 []内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況 (平成31年4月1日現在)



区 分	20 歳 未 満	20 〜 23	24 〜 27	28 〜 31	32 〜 35	36 〜 39	40 〜 43	44 〜 47	48 〜 51	52 〜 55	56 〜 59	60 以 上	計
職員数	3	48	86	111	74	79	89	124	132	80	61	16	903

(3) 職員数の推移

部門別	年度	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	過去5年間の増減数(率)
一般行政職		555	572	576	569	566	569	14 (2.5%)
教育		127	110	103	102	103	95	-32 (-25.2%)
消防		161	161	163	165	169	169	8 (5.0%)
普通会計		843	843	842	836	838	833	-10 (-1.2%)
公営企業等会計		73	71	70	70	70	70	-3 (-4.1%)
総合計		916	914	912	906	908	903	-13 (-1.4%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数です。

7 公営企業(水道事業)職員の状況

① 職員給与費の状況

決算

区分	総費用	純損益又は 実質収支	職員給与費	総費用に占める 職員給与費比率	(参考) 平成29年度の総費用 に占める職員給与費比率
	A		B	B/A	
平成 30年度	千円 2,749,753	千円 213,082	千円 295,176	% 10.7%	% 12.8

(注) 1 資本勘定支弁職員に係る職員給与費89,072千円を含みません。

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	B/A
平成 30年度	人 40	千円 159,297	千円 52,138	千円 66,114	千円 277,549	千円 6,939

(注) 1 職員手当には、退職手当を含みません。
2 職員数は、平成30年4月1日現在の人数です。

全国市町村平均 一人当たり給与費	千円
6,181	

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (管理者除く)

(平成31年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
水道事業	47.11	354,832 円	559,753 円

(注) 基本給には扶養手当を含み、平均月収額には期末・勤勉手当等を含みます。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

水道事業				三原市			
1人当たり平均支給額(平成30年度)				1人当たり平均支給額(平成30年度)			
1,682 千円				1,513 千円			
(平成30年度支給割合)				(平成30年度支給割合)			
期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当	
2.60 月分	1.85 月分	2.60 月分	1.85 月分	2.60 月分	1.85 月分	2.60 月分	1.85 月分
(1.45) 月分	(0.90) 月分	(1.45) 月分	(0.90) 月分	(1.45) 月分	(0.90) 月分	(1.45) 月分	(0.90) 月分
(加算措置の状況)				(加算措置の状況)			
職制上の段階、職務の級等による加算措置 有				職制上の段階、職務の級等による加算措置 有			

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

イ 退職手当

(平成31年4月1日現在)

水道事業			三原市		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0935 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0935 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置 勤続20年以上で定年前早期勤奨 退職特例措置として2~20%を加算 する			その他の加算措置 勤続25年以上で定年前早期勤 奨退職特例措置として2~20%を 加算する。		
1人当たり平均支給額 - 千円			1人当たり平均支給額 16,826 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

ウ 地域手当

(平成31年4月1日現在)

支給実績(平成30年度決算)	5,031 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(平成30年度決算)	129,000 円		
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
三原市	3 %	39 人	3 %

エ 特殊勤務手当（管理者除く）

（平成31年4月1日現在）

支給実績（平成30年度決算）	649 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）	27,042 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成30年度）	60.0 %		
手当の種類（手当数）	4		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
交替勤務手当	交替勤務に従事した職員	交替勤務	7,000円/月
現場作業手当	汚泥処理、停水処分、公道上の断水作業に従事した職員	汚泥処理、停水処分、公道上の断水作業	500円/日
	招集を受けて時間外に水道施設の維持管理作業に従事した職員	招集を受けて時間外の水道施設の維持管理作業	2,000円/勤務1回
	ただし、深夜緊急に招集を受け作業に従事した職員	招集を受けて時間外の水道施設の維持管理作業	2,500円/勤務1回
危険手当	有害物を取り扱う作業に従事した職員	有害物を取り扱う作業	250円/日
	地上10メートル以上の高所、地下4メートル以上の深所又は貯水槽内での作業に従事した職員	高所、深所又は貯水槽内での作業	500円/日
	洪水等による増水のため足場の不安定な箇所での作業に従事した職員	足場の不安定な箇所での作業	500円/日
年末年始出勤手当	年末年始に水道施設の維持管理作業に従事した職員	高電圧を取り扱う作業に従事した職員	高電圧を取り扱う作業
		年末年始の水道施設の維持管理作業	1勤務につき4時間以上5,000円 1勤務につき4時間未満2,500円

オ 時間外勤務手当（管理者除く）

支給実績（平成29年度決算）	8,942 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（平成29年度決算）	248 千円
支給実績（平成30年度決算）	18,667 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）	505 千円

（注）時間外勤務手当には、休日勤務手当を含みます。

カ その他の手当

（平成31年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績（平成30年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）
扶養手当	配偶者：6,500円、子10,000円、その他6,500円	同		5,991 千円	230,423 円
住居手当	借家：27,000円以内	同		2,394 千円	299,250 円
単身赴任手当	異動等により配偶者と別居し、単身で生活することを常況とした場合28,000円～74,000円	同		0 千円	0 円
通勤手当	通勤のため、公共交通機関、交通用具を使用する者 公共交通機関：55,000円以下 実費負担 55,001円以上 55,000円 交通用具使用：距離により2,900円～31,600円	異	交通用具：距離により2,000円～31,600円	3,387 千円	86,846 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員 課長級62,300円 部長級77,400円	同		2,424 千円	808,000 円
休日勤務手当	休日に勤務した場合 勤務1時間当りの給与額×135/100×時間数	同		640 千円	17,297 円
夜勤手当	午後10時から翌日午前5時まで勤務した場合 勤務1時間当りの給与額×25/100×時間数			0 千円	0 円
宿日直手当	宿日直勤務をした場合 1回4,200円			0 千円	0 円
管理職員特別勤務手当	管理職手当支給対象職員が、臨時・緊急の必要により勤務した場合 休日：課長級6,000円、部長級8,000円 平日深夜：課長級3,000円、部長級4,000円	同		414 千円	138,000 円

8 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 職員の勤務時間（一般職の標準的なものを記入）

（平成31年4月1日現在）

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間	備考 (時差通勤等を実施している場合は、その内容を簡潔に記入する)
38時間 45分	8:30	17:15	12:00～13:00	

（注）1 休憩時間：職員が勤務時間の途中において、勤務から解放され、自己の時間として自由に利用することが保障されている時間であり、労働基準法に準拠しているもの。

(2) 年次有給休暇の取得状況

（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

総付与日数 A	総使用日数 B	全対象職員数 C	平均使用日数 B/C	取得率 B/A
			%	%
17,057	4,328.3	436	9.9	25.4

(3) 時間外勤務及び休日勤務等の状況

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

時間外・休日勤務総時間数	職員一人当たりの 時間外・休日勤務月平均時間数
167,534	23.1

（注）1 「時間外・休日勤務総時間数」は、当該年度中の時間外勤務等の総時間数。
2 「職員一人当たりの時間外・休日勤務月平均時間数」は、「時間外・休日勤務総時間数」を対象職員（管理職を除く）数で除したものの。

(4) 特別休暇等の状況

（平成31年4月1日現在）

休暇の種類	付与日数・期間等	有給・無給の別	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
非常災害による交通遮断	その都度必要と認める期間	有給	同	
天災地変による職員の現住居の滅失又は破壊	7日以内においてその都度必要と認める期間	有給	同	
証人、鑑定人、参考人等としての出頭	その都度必要と認める期間	有給	同	
選挙権その他公民としての権利の行使	その都度必要と認める期間	有給	同	
所轄庁の事務又は事業の全部又は一部の停止	その都度必要と認める期間	有給	異	国は、制度なし
職員の結婚休暇	連続する8日以内の期間	有給	異	国は、5日以内
女子職員の出産休暇	産前8週間、産後8週間	有給	同	国は、産前6週間
妊婦検診	妊婦検診3週～4週間に1回、24週～35週に2週間に1回、その都度必要と認める日又は時間	有給	異	国は、制度なし
妊娠中の女子職員の通勤緩和	勤務時間の始め又は終わりに、1日につき1時間以内	有給	異	国は、制度なし
生後満1年に達しない子の育児時間	1日2回、それぞれ30分	有給	同	
配偶者の出産休暇	2日以内	有給	同	
育児参加のための休暇	配偶者が産前・産後休暇中に5日以内	有給	同	
短期介護休暇	要介護者の介護のため5日以内（対象2人以上の場合10日以内）	有給	同	
生理休暇	2日以内でその都度必要と認める期間	有給	異	国は、病気休暇措置
忌引	親族に及び1～10日間	有給	異	
父母の追悼	1日	有給	同	
夏季休暇	5日間	有給	異	国は、3日間
ドナー休暇	その都度必要と認める期間	有給	同	
子（小学校就学前）の看護休暇	暦年で5日以内（対象2人以上の場合10日）	有給	同	
ボランティア休暇	暦年で5日以内	有給	同	
病気休暇	療養のため必要最小限の期間	有給(90日まで)	同	
介護休暇	介護のため必要と認める6月以内の期間	無給	同	
組合休暇	暦年で30日以内	無給	無	国は、制度なし
研修受講	その都度必要と認める期間	有給	同	
厚生計画への参加	その都度必要と認める期間	有給	同	
消防団活動	その都度必要と認める期間	有給	異	国は、制度なし
妊娠中又は出産後の症状 対応措置	その都度必要と認める期間	有給	同	

（注）「特別休暇等」とは、特別休暇及び職務専念義務免除で制度化されているもの。

9 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分者数 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位：人)

区 分	降任	免職	休職	降給	合計
勤務実績が良くない場合					0
心身の故障の場合			29		29
職に必要な適格性を欠く場合					0
職制、定数の改廃、予算の減少により 廃職、過員を生じた場合					0
刑事事件に関し起訴された場合					0
条例で定めた事由による場合					0
計	0	0	29	0	29

(2) 懲戒処分者数 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位：人)

区 分	戒告	減給	停職	免職	合計	訓告等
法令に違反した場合	0	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し又は職務を 怠った場合	0	1	0	0	1	2
全体の奉仕者たるにふさわしくない 非行のあった場合	0	0	0	0	0	0
計	0	1	0	0	1	2

(注) 「訓告等」とは、事件当事者又は監督者に対して訓告、嚴重注意などの実質的な制裁を伴わない矯正措置をいいます。

10 職員の服務の状況

(1) 公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律 (以下「派遣法」 という。)に基づく派遣の状況

(平成31年4月1日現在)

派遣形態根拠	法人名	派遣職員数 (人)		
		役員	職員	合計
職員派遣 一般地方独立行政法人 派遣法第2条第2項	公立大学法人県立広島大学 全国市長会 公益財団法人広島県地域保健医療推進機構	0	3	3
計		0	3	3

11 職員の研修の状況

(1) 職員の研修の状況

① 研修に関する基本方針の策定 (地方公務員法第39条第2項)

策定の有無	策定期間
有	平成18年11月

② 研修の実施状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

機関別研修	本年度 参加者数	前年度 参加者数	備 考
派遣研修	236 人	289 人	
独自研修	1,224 人	1,336 人	
計	1,460 人	1,625 人	

1.2 職員の退職管理の状況

(1) 職員の退職管理の状況

区分	民間企業 (株式会社・有限会社)	左記以外の法人
平成29年度退職者 (管理職であった者)	1	3
平成30年度退職者 (管理職であった者)	3	2

1.3 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 職員の福利厚生状況

職員の福利厚生事業については、(財)広島県市町村職員共済互助会及び三原市職員互助会(恵和会)において実施しています。平成30年度の事業実績は、次のとおりです。

① (財) 広島県市町村職員共済互助会 (学校共済加入者59人除く)

ア 会員数 849人 (平成30年4月1日現在) ※三原市分を記載

イ 主な事業内容

- ・健康づくり事業 (ソフトボール大会, サッカー教室, 体験型環境学習)
- ・相談事業 (法律相談, 税務相談)
- ・スポーツ, 文化施設等利用契約
- ・積立年金事業
- ・公益事業 (図書寄付)

ウ 負担割合 職員の掛金 標準報酬月額0.52/1,000

市の負担金 標準報酬月額0.52/1,000 (公費負担率50.0%)

エ 平成30年度決算額 市の負担金 2,017千円

② 三原市職員互助会 (恵和会)

ア 会員数 927人 (平成30年4月1日現在)

イ 主な事業内容

- ・職員の保健に関する事業 (人間ドック助成など)
- ・職員の元気回復に関する事業 (宿泊利用助成, スポーツ大会)
- ・その他厚生事業 (慶弔給付, やっさ踊り, 間口清掃)

ウ 負担割合 職員の会費 給料月額3.00/1,000

市の助成金 給料月額0.12/1,000

エ 平成30年度決算額 事業費 18,119千円

うち市の助成金 413千円 (公費負担率2.3%)

(2) 平成30年度健康診断等の状況

区分	受診者数(人)
定期健康診断	343
ガン検診	15
人間ドック	653

(3) 勤務条件に関する措置の要求の状況

該当なし

(4) 不利益処分に関する不服申立ての状況 (平成30年度)

平成30年度当初	新規申立て	取下げ	裁決・決定	平成30年度末
0件	0件	0件	0件	0件